ぐるり39

～自治調査会だより～

2024
11
NO.134
［発行日］
2024.11.1

作家・山本有三の旧邸。大正末期に建てられた本格的な洋風建築です。企画展やゆかりのある施設と連携したスタンプラリーを実施中。

【撮影】まちなかカメラマン 柴平達弥　【撮影場所】三鷹市山本有三記念館

Contents　11月の内容

▶オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト　市町村の取組紹介 ･･･ 2
狛江市　のびのび会及びとんぼの会等による緑環境保全及び啓発活動
東大和市　東大和市立狭山緑地管理事業
三宅村　三宅島緑化プロジェクト支援事業
▶多摩交流センターだより
・2025年度広域的市民ネットワーク活動等事業助成団体募集中 ･･･ 3
・広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介 ･･･ 3
タダタケ歌仲間　第2回演奏会
▶市町村共同事業の取組紹介 ･･･ 4
・5市共同事業「子ども体験塾」みらい型スポーツフェスタ
・シェアサイクル観光連携推進事業
▶わたげ探偵！！こんなの調べてみました！
～周年記念のまち～ ･･･ 6
▶多摩・島しょ 散歩deアート ～三鷹市～ ･･･ 8

◀当調査会のホームページにバックナンバーも掲載しています。ぜひご覧ください。

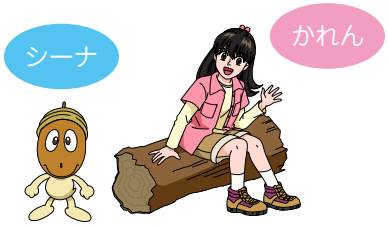
◀「TAMA ebooks」にも掲載していただいています。「ぐるり」で検索のうえ、ご覧ください。

公益財団法人
東京市町村自治調査会

オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市 町 村 の 取 組 紹 介



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対し、助成を行っています。この中から多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。

① 狛江市　のびのび会及びとんぼの会等による緑環境保全及び啓発活動

狛江市では、市民との協働による緑環境保全活動の一環として、小足立のびのび公園と前原公園の管理をのびのび会やとんぼの会等のボランティア団体にお願いしています。ボランティア団体の主な取組として、公園内の樹木の剪定や除草、清掃のほか、季節に応じた花の植栽や市民との交流イベントを行っています。

前原公園では、公園の愛称でもある「とんぼ池」で、毎年夏から秋にかけて様々な種類のたくさんのトンボを見ることができます。

【問合せ先】狛江市　環境政策課　TEL 03-3430-1298

② 東大和市　東大和市立狭山緑地管理事業

東大和市の北部に位置する市立狭山緑地は、市民等のやすらぎの場、憩いの場として1984（昭和59）年に開園しました。

市では、シンボルである狭山緑地の緑を、市民をはじめとした皆様とともに将来にわたって適切に保全し、豊かな自然を次世代の人々に引き継ぐことを目的として、緑地内の見回りや萌芽更新などの管理を行っています。

また、多くの方々に自然環境と触れ合ってもらえるように、緑地内のフィールドアスレチックには、多摩産材を使用した幼児用と児童用の木製複合遊具が設置してあります。貴重な屋外レクリエーション施設として、充実したエリアを提供しています。

【問合せ先】東大和市　都市基盤課　TEL 042-563-2111

③ 三宅村　三宅島緑化プロジェクト支援事業

三宅島では、2000（平成12）年の噴火によって大量の火山灰や火山ガスが放出されました。多くの樹木が枯れ、土砂災害等の二次災害が発生する要因となっています。村では、噴火により被害を受けた森林の回復を図るため、緑化ボランティアによる植樹活動等の支援を行っています。

活動は秋に実施予定で、眼下に海が広がる雄大な自然の中、島で生産された苗木の植樹や植樹後の下刈りや施肥までを行うなど、土砂災害の防止に加え、森林への理解と関心が深まる活動の支援を実施しています。

【問合せ先】三宅村　企画財政課　TEL 04994-5-0988

多摩交流センターだより

2025年度
広域的市民ネットワーク活動等事業助成団体募集中！

広域的な活動や成果発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。詳細はホームページをご覧ください。

【申請期間】 2024年10月16日(水)～12月2日(月)
【問合せ】 (公財)東京市町村自治調査会　企画課　TEL 042-382-7781
ホームページ　https://www.tama-100.or.jp/

詳細はこちら▶

広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介

タダタケ歌仲間　第２回演奏会

日　　時　2024年12月8日（日）　13：30 開演
場　　所　ひの煉瓦ホール
内　　容　設立10年を迎えるタダタケ歌仲間は、多田武彦の作曲した合唱曲をもっぱら歌うために集まった団体で、主に多摩地区在住の仲間で構成され、地区の合唱祭などにも参加し好評を得ています。２回目となる今回の演奏会は、女声合唱団ブリランテの賛同を得てジョイントコンサートとして楽しく有意義な演奏会にしたいと思います。
合唱組曲「北斗の海」や合同演奏の混声組曲「柳河風俗詩」など、多田武彦の珠玉の名曲をはじめ心に響く数々の曲を披露します。
入 場 料　1,000円
主　　催　男声合唱団タダタケ歌仲間
賛助出演　女声合唱団ブリランテ
問 合 せ　西岡　孝　（タダタケ歌仲間）
TEL　090-5333-3490
E-mail　tqan@jcom.zaq.ne.jp

市町村共同事業の取組紹介

当調査会では、多摩・島しょの魅力を高めるために、複数の市町村で組織する協議会などの活動に対して、東京都市長会と東京都町村会とともに支援しています。
昨年度に支援した活動の中から、各号にわたっていくつかご紹介します。

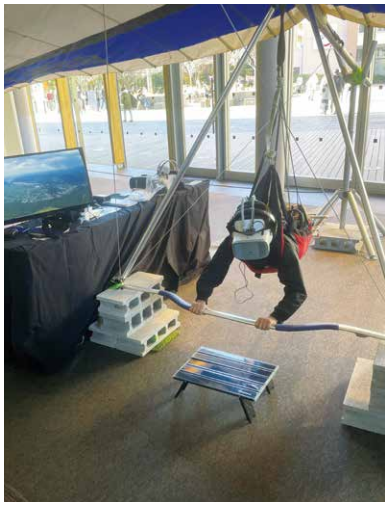
５市共同事業「子ども体験塾」みらい型スポーツフェスタ

構成５市（武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市）の子どもたちを対象にした感動体験を提供する事業に支援したものです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に急速に進展したＤＸ。次世代を担う子どもたちにＩＣＴ（情報通信技術）を活用した新しいコミュニケーションや課題解決方法を体験してもらい、また、持続可能な社会のためにできることを考えるきっかけづくりの場とするため、武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市の中央線沿線５市で連携して、12月に「DX」をテーマとした体験型のイベントを実施しました。

HADO（ハドー）▶

ＨＡＤＯ（ハドー）はＡＲ（拡張現実）技術を使い、魔法のようなエナジーボールやシールドを発動させ、フィールドを移動し、仲間と連携しながら対戦を楽しむ次世代ｅスポーツです。FC東京で長くプレーした元サッカー日本代表の石川直宏さんと一緒にHADOを体験できるゲストステージもあり、会場は大盛況でした。



◀ VR ハンググライダー

VRハンググライダーは、VR（仮想現実）技術により、室内にいるのに大空をハンググライダーで飛んでいるように感じる臨場感たっぷりの驚きの体験です。その他、５市の観光スポットが描かれた的を目指してドローンを着陸させるドローン操縦体験、サッカーやバスケットボールをするスポーツロボット操縦体験、話題の「ChatGPT」や「画像生成AI」を親子で体験できるワークショップなど、全体で1,400人以上が参加し、どのブースもたいへん好評でした。

アンケートでは、ほとんどの参加者が「DXに興味を持てた」と回答し、楽しめながら学べる有意義なイベントとなり、次の企画開催が大きく期待される事業でした。

シェアサイクル観光連携推進事業

多摩７市（立川市、小平市、日野市、国分寺市、国立市、福生市、武蔵村山市）の観光振興に資する事業に支援したものです。

この事業は、電車やバス、タクシーに次ぐ新しい交通手段として注目されている自転車シェアリング（シェアサイクル）を使って、観光地を楽しく健康的に廻り、盛り上げようと開催されました。同じシェアサイクルのプラットフォームを使用している近隣自治体７市が連携して行ったものです。

構成７市に「ナナタマ」という覚えやすい愛称をつけ、それぞれの観光地を相互に連携させることで新たな広域コミュニティを形成し、それらの活性化を図ることを目指しています。

事業は、『シェアサイクルでナナタマ！（多摩７市）の観光地「つなごう」キャンペーン』と名付け、10月～11月に実施しました。

シェアサイクルで「ナナタマ」のいずれか２市をまたいで利用し、アプリのマップ上に表示された観光地にチェックインすると、次回利用できる無料クーポン（200円分）がもらえたり、各市の魅力が溢れる特典が当たる抽選に応募できるなど、自転車にたくさん乗って、楽しく健康的に参加できるキャンペーンです。秋の行楽シーズン、長距離も快適な電動アシスト自転車を利用して普段あまり訪れることがない市にもこの機会にめぐってもらうことをねらいとしました。抽選の特典は、各市の魅力あるイチ推しのものとし、チェックインする観光地も自転車で行きたくなるようなスポットを選定しているので、それぞれの市の魅力が参加者に伝わったと思います。

▼ポスター写真

キャンペーンには、台数限定で７市のキャラクターが描かれたドレスガードを装着した自転車も登場し、PRに一役買ってもらいました。

キャンペーン期間中、無料クーポン獲得の条件を達成された方はのべ2,000人を超え、初めて実施した前年度から大幅に増えました。参加者からは、利用地域を拡大する要望などもあり、この事業に対する期待を感じさせる結果となりました。

2024（令和６）年度は東大和市を加えた８市（ハチタマ）で11月30日まで同キャンペーンを実施しています。ぜひご参加ください。

ハチタマシェアサイクル
ホームページはこちら▶

▼ドレスガード写真

キャラクター装飾の自転車は台数限定。
乗れたらラッキー！

わたげ探偵!!
こんなの調べてみました!

～ 周年記念のまち ～

◎不定期掲載

今年度は、5つ
記念にシンボル

府中市

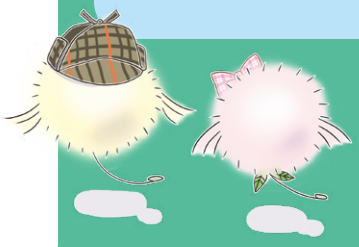
まずは、**70周年の府中市**から。数字の70の「0」を花や鳥、鳥居など、色々なもので表しているけど、これらは全部、府中に関するものなんだ。作者が、未来に向けた希望をこめて、思い描いたデザインになっているそうだよ。

▲関連ホームページ

昭島市

次は、同じく**70周年を迎えた昭島市**だよ。令和4年度に選定されたカーボンニュートラル啓発の環境ロゴをアレンジしたデザインだそうだよ。水道水が深層地下水100%の昭島らしい、水が豊かなイメージが伝わるデザインだね✨

関連ホームページ▶

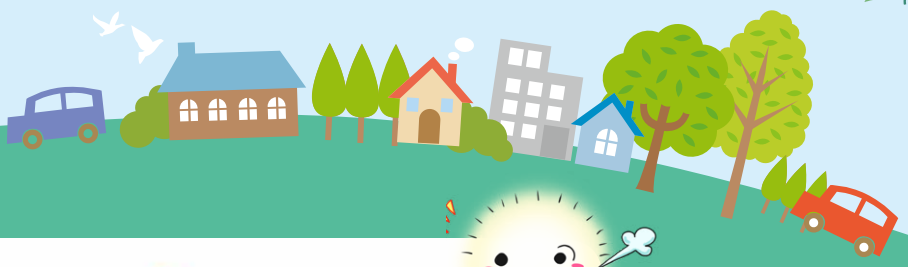


日の出町

日の出町は、町になって50周年。来年は、平井村と大久野(おおぐの)村が合併して70年。
50周年・70周年の両方を記念した事業を来年度に予定しているよ。
今年は、毎年行われている「ひので夏まつり」などのイベントを50周年記念として行ったり、合併70周年のロゴマークを募集したりしたよ。

▲関連ホームページ

のまちが市（町）になってから、70年、60年、50年たった節目に当たるよ。
ルマークを作った市があるから、それぞれ紹介するよ。



東村山市

続いて、**60周年を迎えた東村山市**のシンボルマークだよ。60歳は、人間でいうと「還暦」。このことから、新たなスタートをイメージして、市章を使ったデザインにしたそうだよ。爽やかなスカイブルーは、未来を連想させるね。

関連ホームページ▶

60 years
未来 キラリ 東村山

国分寺市

国分寺市は、11月3日で市制施行60周年。シンボルマークには、武蔵国分寺跡の七重塔や、国分寺の地で開発研究が行われた新幹線があしらわれているよ。カワセミや野菜が入っているのも国分寺市らしいね。数字の「0」を表しているのは、武蔵国分寺跡から出土した「あぶみ瓦」なんだって。

関連ホームページ▶

みんなが住んでいるまちは、施行何周年かな？

市町村制施行日	
八王子市	T 6. 9. 1
立川市	S12.12. 1
武蔵野市	S22.11. 3
三鷹市	S25.11. 3
青梅市	S26. 4. 1
府中市	S29. 4. 1
昭島市	S29. 5. 1
調布市	S30. 4. 1
町田市	S33. 2. 1
小金井市	S33.10. 1
小平市	S37.10. 1
日野市	S38.11. 3
東村山市	S39. 4. 1
国分寺市	S39.11. 3
国立市	S42. 1. 1
福生市	S45. 7. 1
狛江市	S45.10. 1
東大和市	S45.10. 1
清瀬市	S45.10. 1
東久留米市	S45.10. 1
武蔵村山市	S45.11. 3
多摩市	S46.11. 1
稲城市	S46.11. 1
羽村市	H 3.11. 1
あきる野市	H 7. 9. 1
西東京市	H13. 1.21
瑞穂町	S15.11.10
日の出町	S49. 6. 1
檜原村	M22. 4. 1
奥多摩町	S30. 4. 1
大島町	S30. 4. 1
利島村	T12.12. 1
新島村	H 4. 4. 1
神津島村	T12.12. 1
三宅村	S31. 2. 1
御蔵島村	T12.12. 1
八丈町	S30. 4. 1
青ヶ島村	S15. 4. 1
小笠原村	S43. 6.26

多摩・島しょ 散歩deアート

第5回　三鷹市

散歩で訪ねたい身近な芸術・文化スポットのプチ情報をお届け！
今回はわたげのボクが「太宰治文学サロン」と
「三鷹市吉村昭書斎」を紹介するよ。

太宰治文学サロン

◆写真提供　三鷹市芸術文化課

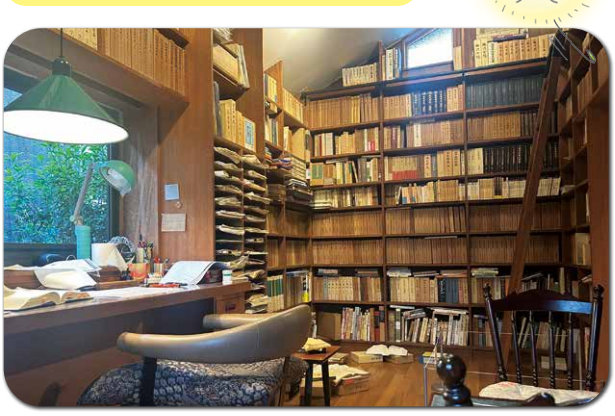
太宰治文学サロンは、作家・太宰治の作品と生涯を紹介する文化施設だよ。『人間失格』や『斜陽』を三鷹で執筆したことから、彼が亡くなったことを偲ぶ６月の「桜桃忌（おうとうき）」には、今でもファンが足を運ぶんだ。

サロンでは、貴重な資料に囲まれて、コーヒーやクッキーなどを楽しみながら施設内の本を読むことができるよ。

【基本情報】

・入 場 料：無料
・開館時間：10：00 ～ 17：30
・休 館 日：月曜日（祝日の場合は開館し、翌日と翌々日が休館）
・電　　話：0422-26-9150

三鷹市吉村昭書斎



◆写真提供　（公財）三鷹市スポーツと文化財団

吉村昭は、戦史や歴史をテーマに綿密な取材と調査を重ねて史実に基づいた小説を数多く執筆した作家で、代表作の『戦艦武蔵』や『関東大震災』など、記録文学の第一人者として活躍したよ。彼が「この世で一番安らぐ場所※」と愛した自宅離れの書斎を移築して、2024（令和６）年３月に文化施設として開館したんだ。

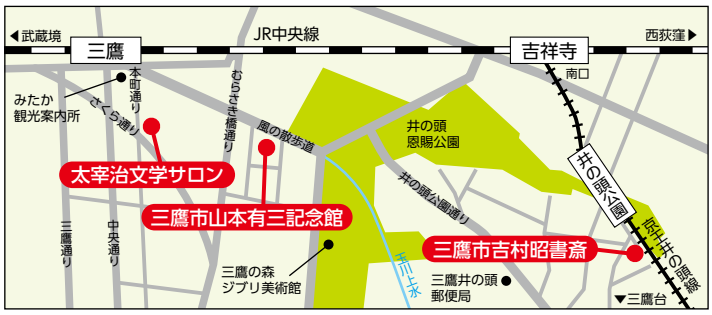
※「書架 作家吉村昭さん」（「産経新聞」平成 11 年５月 31 日）

【基本情報】

・入 場 料：書斎棟100円、交流棟無料
・開館時間：10：00 ～ 17：30
・休 館 日：月曜日（祝日の場合は開館し、翌日と翌々日が休館）
・電　　話：0422-26-7500

【アクセス】

・三鷹市山本有三記念館　※表紙
　JR中央線三鷹駅から徒歩12分
・太宰治文学サロン
　JR中央線三鷹駅から徒歩3分
・三鷹市吉村昭書斎
　京王井の頭線井の頭公園駅から徒歩3分



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。　問合せフォーム▼

【発行日】2024年11月１日　【発行】公益財団法人　東京市町村自治調査会　【責任者】小暮　実
〒183-0052　東京都府中市新町2-77-1　東京自治会館４F　TEL 042-382-0068
ホームページ　https://www.tama-100.or.jp（本紙のバックナンバーをご覧いただけます。）

VEGETABLE OIL INK
再生紙を利用しています